

# 利益相反自己申告書の書き方について

(様式3)

申告者及び申告者の配偶者、一親等以内の親族、又は収入・財産を共有する者の利益相反申告書

算出期間: 20 年(01.01~12.31)

【事務局記入欄】受付番号: \_\_\_\_\_  
 受付日(西暦) 年 月 日

日本臨床細胞学会理事長 殿  
 申告者氏名: \_\_\_\_\_  
 所属(機関・教室/診療科)名: \_\_\_\_\_  
 本学会での役職名: \_\_\_\_\_  
 本学会所属委員会名: \_\_\_\_\_ 委員会

**A. 申告者自身の申告事項**

①企業や法人組織(非営利組織、財団法人などを含む)、営利を目的とする団体の役員、顧問の有無と報酬額(一つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載)	有・無(該当する方に○) (有の場合は下記内容を企業・団体ごとに記載)
②産学連携活動の相手先の株の保有と、その株式から得られる利益(一つの企業の1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載)	有・無(該当する方に○) (有の場合は下記内容を企業ごとに記載)
③産学連携活動の相手先の株以外のエクイティ(出資金、ストックオプション、受益権など)の保有と、そのエクイティから得られる利益(一つの企業の1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該エクイティの5%以上保有のものを記載)	有・無(該当する方に○) (有の場合は下記内容を企業ごとに記載)
④企業や法人組織(非営利組織、財団法人などを含む)、営利を目的とする団体から特許権使用料として支払われた報酬(一つの特許使用料が年間100万円以上のものを記載)	有・無(該当する方に○) (有の場合は下記内容を特許ごとに記載)
⑤企業や法人組織(非営利組織、財団法人などを含む)、営利を目的とする団体より、会議の出席(発表)に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当(講演料など)(一つの企業・団体からの講演料が年間50万円以上のものを記載)	有・無(該当する方に○) (有の場合は下記内容を企業・資金提供者ごとに記載)
⑥企業や法人組織(非営利組織、財団法人などを含む)、営利を目的とする団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料(一つの企業・団体からの原稿料が年間合計50万円以上のものを記載)	有・無(該当する方に○) (有の場合は下記内容を企業・資金提供者ごとに記載)
⑦企業や法人組織(非営利組織、財団法人などを含む)、営利を目的とする団体が提供する研究費(受託研究費・共同研究費・臨床試験など)(一つの企業・団体からの研究費が年間合計100万円以上のものを記載)	有・無(該当する方に○) (有の場合は下記内容を各臨床研究ごとに記載)

③エクイティとは「付加価値の高い株式関連の金融サービス；具体的には上場・店頭株式、転換社債、デリバティブズ、仕組み商品などを指し、その他公開・未公開問わず、株式、出資金、ストックオプション、受益権等を指します」。

①申告者氏名、②所属名、③本学会での役職名、④本学会所属委員会名  
 上記①～④は漏れなく記入をお願いします。

無の場合でも必ず全ての項目に○の記入をお願いします。

⑧企業や法人組織(非営利組織、財団法人などを含む)、営利を目的とする団体が提供する奨学(奨励)寄附金(一つの企業・組織や団体から、申告者個人又は申告者が所属する部局(講座・分野)あるいは研究課の代表者に支払われた報酬が年間100万円以上のものを記載)	有・無(該当する方に○) (有の場合は下記内容を各臨床研究ごとに記載)
⑨その他の報酬(研究とは直接無関係な旅行、贈答品など)(一つの企業・団体から受けた報酬額が年間5万円以上のものを記載)	有・無(該当する方に○) (有の場合は下記内容を企業・団体ごとに記載)
⑩企業等からの研究員等の受け入れ	有・無(該当する方に○) (有の場合は下記内容を企業ごとに記載)
⑪企業等が提供する寄附講座	所属している・していない(該当する方に○) (有の場合は下記内容を企業ごとに記載)

**B. 申告者の配偶者・一親等内の親族、又は収入・財産を共有する者の申告事項**

①企業や法人組織(非営利組織、財団法人などを含む)、営利を目的とする団体の役員、顧問の有無と報酬額(一つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上のものを記載)	有・無(該当する方に○) (有の場合は下記内容を企業・団体ごとに記載)
②産学連携活動の相手先の株の保有と、その株式から得られる利益(一つの企業の1年間の利益が100万円以上のもの、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載)	有・無(該当する方に○) (有の場合は下記内容を企業ごとに記載)
③企業や法人組織(非営利組織、財団法人などを含む)、営利を目的とする団体から特許権使用料として支払われた報酬(一つの特許使用料が年間100万円以上のものを記載)	有・無(該当する方に○) (有の場合は下記内容を特許ごとに記載)

「有」の場合、それぞれの該当者氏名(申告者との関係): \_\_\_\_\_  
 申告者との関係 \_\_\_\_\_

誓約: 私の利益相反に関する状況は上記の通りであることに相違ありません。私の日本臨床細胞学会での職務遂行上で妨げとなる、これ以外の利益相反状態は一切ありません。なお、本申告書の内容は、社会的・法的な要請があった場合は、公開することを承認します。

申告日(西暦) 年 月 日

申告者署名 \_\_\_\_\_

こちらにも忘れずに直筆サインにて記入をお願いします。